

夜空で星座を勉強しよう 4

冬の星座を見つけてみよう

冬の夜空は、夏の次に明るくにぎやかです。代表的なオリオン座をはじめ、オリオン座の腰にあたる3つの星のすぐ南側には有名なオリオン大星雲が、オリオンをはさんで右にはおうし座、左にはおおいぬ座のシリウスを見ることができます。シリウスとオリオン座のベテルギウス（左上の1等星）を結び、左側へのばすと、こいぬ座の1等星プロキオンにぶつかります。この正三角形を*「冬の大三角形」と呼んでいます。また、*「冬の大六角形」は、冬の星座を知るための良き目印となっています。

冬の大三角形

ベテルギウスと冬の淡い天の川をはさんで輝く小犬座のプロキオン。そして夜空を刺すような大犬座のシリウスの白い輝き。ベテルギウス、プロキオン、シリウスの形作る正三角形が「冬の大三角形」です。

冬の大六角形

カペラ、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオン、カストル6つの1等星を結んでできるダイヤモンドの形「冬の大六角形」は、冬の星座を知るための良き目印となります。

上の図は

9月 5日の午前1時, 9月20日の午前0時ごろ
10月 5日の午後11時, 10月20日の午後10時ごろ
11月 5日の午後 9時, 11月20日の午後 8時ごろ
南の空を見上げたときに見える星空です。

